平成25年３月期　第３四半期決算短信［日本基準］（連結）

平成25年２月１日

上 場 会 社 名 アステラス製薬株式会社　　上 場 取 引 所 東証一部・大証一部
コ ー ド 番 号 4503　　U　R　L http://www.astellas.com/jp/
代　　表　　者（役職名）代表取締役社長　（氏名）畑中　好彦
問合せ先責任者（役職名）広報部長　（氏名）河村　真　　ＴＥＬ　(03)3244-3201

四半期報告書提出予定日　平成25年２月８日　　配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無：　有 ・ 無
四半期決算説明会開催の有無　　：　有 ・ 無　（証券アナリスト・機関投資家・報道機関向け）

（百万円未満切捨て）

１．平成25年３月期第３四半期の連結業績（平成24年４月１日～平成24年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）　　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年３月期第３四半期	755,193	△1.1	135,046	△7.8	136,401	△9.0	84,636	△14.2
24年３月期第３四半期	763,869	4.0	146,504	21.0	149,963	27.7	98,602	24.6

（注）包括利益　25年３月期第３四半期　112,345百万円（274.1%）
　　24年３月期第３四半期　30,030百万円（274.2%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円　銭	円　銭
25年３月期第３四半期	183　60	183　36
24年３月期第３四半期	213　50	213　22

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年３月期第３四半期	1,418,079	1,051,225	74.0
24年３月期	1,400,629	1,018,123	72.6

（参考）自己資本　25年３月期第３四半期　1,049,371百万円　24年３月期　1,016,518百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭
24年３月期	―	60　00	―	65　00	125　00
25年３月期	―	65　00	―	――――	――――
25年３月期（予想）	――――	――――	――――	65　00	130　00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：　有 ・ 無

３．平成25年３月期の連結業績予想（平成24年４月１日～平成25年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円　銭
通　期	972,000	0.3	147,000	11.8	149,000	10.3	98,000	25.3	213　04

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：　有 ・ 無

１株当たり当期純利益は、平成24年11月5日～12月10日に実施しました自己株式取得を反映しています。

※　注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動：　有・[無]
（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：　[有]・無

（注）詳細は、添付資料P.７「２．サマリー情報（注記事項）に関する事項　（１）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：　有・[無]
②　①以外の会計方針の変更　：　[有]・無
③　会計上の見積りの変更　：　[有]・無
④　修正再表示　：　有・[無]

（注）「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の５に該当するものです。詳細は、添付資料P.７「２．サマリー情報（注記事項）に関する事項　（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）

25年３月期第３四半期	467,964,635株	24年３月期	467,964,635株

②　期末自己株式数

25年３月期第３四半期	10,820,088株	24年３月期	6,044,560株

③　期中平均株式数（四半期累計）

25年３月期第３四半期	460,973,446株	24年３月期第３四半期	461,843,218株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

上記の予想及び添付資料に含まれる将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料P.６「１．当四半期決算に関する定性的情報（３）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法）

四半期決算補足説明資料は四半期決算短信とあわせて開示しています。

また、平成25年２月１日（金）に証券アナリスト・機関投資家・報道機関向けにカンファレンス・コールを開催する予定です。このカンファレンス・コールの音声については、当日使用する四半期決算説明資料とともに、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… P. 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… P. 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… P. 5
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… P. 6
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… P. 7
（１）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… P. 7
（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… P. 7
３．四半期連結財務諸表 …… P. 8
（１）四半期連結貸借対照表 …… P. 8
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… P. 9
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間 …… P. 9
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間 …… P. 10
（３）継続企業の前提に関する注記 …… P. 11
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… P. 11

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

①当期の概況

当第３四半期（２０１２年４月１日から１２月３１日）の連結業績は、以下の通り売上高は減収、営業利益、経常利益、四半期純利益は減益となりました。

［連結業績］ （単位：百万円、端数切捨て）

	前年第３四半期 (2012 年３月期)	**当第３四半期 (2013 年３月期)**	対前年同期増減額 (増減率)
売　上　高	７６３,８６９	**７５５,１９３**	△８,６７５ (△１.１%)
営 業 利 益	１４６,５０４	**１３５,０４６**	△１１,４５７ (△７.８%)
経 常 利 益	１４９,９６３	**１３６,４０１**	△１３,５６１ (△９.０%)
四半期純利益	９８,６０２	**８４,６３６**	△１３,９６６ (△１４.２%)

（注）包括利益　**当第３四半期**　112,345百万円（対前年同期増減率　274.1%）

前年第３四半期　30,030百万円

＜研究開発費＞ （単位：百万円、端数切捨て）

	前年第３四半期	**当第３四半期**	増減
研究開発費	１３５,５２０	**１３４,１６５**	△１,３５５

＜為替レート＞

期中平均レート	前年第３四半期	**当第３四半期**	増減
円/米ドル	７９円	**８０円**	１円
円/ユーロ	１１１円	**１０２円**	△８円

期末日レート	前期末	**当第３四半期末**	増減
円/米ドル	８２円	**８７円**	４円
円/ユーロ	１１０円	**１１５円**	５円

【為替の業績への影響】

当第３四半期の為替レートは、上表の通りです。これらの結果、売上高においては９８億円の減収、営業利益においては１１３億円の減益の影響がありました。なお、当第３四半期末にかけて為替相場は急激に円安方向に変動したことから、グループ間取引の中で

海外子会社が保有する外貨建たな卸資産に係る未実現利益の消去による影響額が、円貨換算後の連結財務諸表における売上総利益を押し下げる結果となりました。一方、前年同期においては、前第３四半期末における為替相場は円高方向に変動しており、未実現利益の消去による影響額は売上総利益を押し上げる結果でした。このため、前年同期との比較では、営業利益に対する為替の影響が売上高に対するそれと比べて相対的に大きくなっております。

【売上高】

連結売上高は７，５５１億円（前年同期比１．１％減）となりました。

・ グローバル製品である過活動膀胱治療剤**ベシケア**が引き続き伸長したほか、キャンディン系注射用抗真菌剤**ファンガード／マイカミン**などが順調に拡大しました。また、前立腺がん治療剤 XTANDI、過活動膀胱治療剤**ベタニス／ミラベトリック**などの新製品が売上増加に寄与しました。一方、免疫抑制剤**プログラフ**、前立腺肥大症の排尿障害改善剤**ハルナール**は、後発医薬品の影響などにより売上が減少しました。

（地域別売上高の状況）

※地域別売上高については売上元会社の所在地を元に集計しています。

◇ 日本

日本の売上高は４，３２４億円（同２．８％減）となりました。このうち、国内市場での売上高は、２０１２年４月に実施された薬価改定の影響などもあり、４，１６５億円（同３．０％減）となりました。

・ **プログラフ**、**ベシケア**、非ステロイド性消炎・鎮痛剤**セレコックス**のほか、統合失調症治療剤**セロクエル**などが伸長しました。
・ 持続性アンジオテンシンⅡ受容体拮抗剤**ミカルディス**は、利尿剤との配合剤である**ミコンビ**及びカルシウム拮抗剤との配合剤である**ミカムロ**と併せて売上を拡大しました。
・ このほか、成人気管支喘息治療剤**シムビコート**、骨粗鬆症治療剤**ボノテオ**、過活動膀胱治療剤**ベタニス**、高カリウム血症改善剤**アーガメイト**（２０１２年４月より販売）などの新製品が売上増加に寄与しました。
・ 一方、後発医薬品の影響などにより、高コレステロール血症治療剤**リピトール**、消化性潰瘍・胃炎治療剤**ガスター**、**ハルナール**などの売上は減少しました。
・ なお、２０１２年６月に高リン血症治療剤**キックリン**、７月にレストレスレッグス症候群治療剤**レグナイト**、１０月に前立腺がん治療剤**ゴナックス**及び四種混合ワクチン**クアトロバック**をそれぞれ発売しました。

◇ 海外

米州の売上高は１，４７２億円（同４．７％増）となりました。なお、現地通貨ベースでの売上高は、１，８４０百万ドル（同３．４％増）となりました。

・ **ベシケア**、**マイカミン**、心機能検査補助剤**レキスキャン**が伸長したほか、抗がん剤**タルセバ**の収入が増加しました。
・ また、米国において２０１２年９月に発売した XTANDI、１０月に発売した**ミラベトリック**が売上増加に寄与しました。

・ 一方、**プログラフ**は後発医薬品の影響により売上が減少しました。

欧州の売上高は1，４４７億円（同４．４％減）となりました。なお、現地通貨ベースでの売上高は1，４１６百万ユーロ（同３．６％増）となりました。

・ **ベシケア**、**マイカミン**の売上が伸長しました。また、前立腺がん治療剤**エリガード**が着実に売上を拡大しました。
・ **プログラフ**、**ハルナール**の自社販売による売上は、各国での価格の引き下げや後発医薬品の影響により減少しました。
・ なお、クロストリジウム・ディフィシル感染症治療剤**ディフィクリア**を２０１２年５月に発売しました。

アジアの売上高は３０７億円（同１４．１％増）となりました。

・ **プログラフ**、**ハルナール**のほか、**ベシケア**、**マイカミン**、アトピー性皮膚炎治療剤**プロトピック**などが拡大し、増収となりました。

【営業利益】

連結営業利益は1，３５０億円（同７．８％減）となりました。

・ 売上原価率は、グループ間取引における未実現利益消去に伴う為替の影響などにより前年同期より０．９ポイント上昇し、３２．５％となりました。売上高の減少に加えて、売上原価率が上昇したことから、売上総利益は5，０９５億円（同２．４％減）となりました。
・ 販売費及び一般管理費合計は3，７４４億円（同０．４％減）となりました。
・ このうち、研究開発費は、有形固定資産の減価償却方法を変更した影響などにより、１，３４１億円（同１．０％減）となりました。対売上高研究開発費比率は、前年同期と同水準の１７．８％となりました。
・ また、研究開発費を除く販売費及び一般管理費は、前年同期と同水準の２，４０３億円となりました。

【経常利益】

連結経常利益は1，３６４億円（同９．０％減）となりました。

・ 為替差益１０億円を計上した前年同期に対し、当第３四半期は為替差損３億円を計上したことなどから、営業外収益が１５億円減少し、営業外費用が５億円増加しました。

【四半期純利益】

連結四半期純利益は８４６億円（同１４．２％減）となりました。

・ 特別利益は７億円となりました。特別損失は、有形固定資産及び仕掛研究開発に関わる無形固定資産などの減損損失１２０億円を計上したことなどから１４７億円となりました。
・ また、法人税等の負担率は、海外グループ会社からの配当方針の変更及び税制改正による影響などにより一時的に上昇した前年同期に比べ、低下しました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

当第３四半期末の連結貸借対照表の概要及び前期末からの主な変動は以下の通りです。

【資産】

当第３四半期末（２０１２年１２月３１日時点）における総資産は１兆４,１８０億円（前期末比１７４億円増）となりました。

＜流動資産＞当第３四半期末：８,０１６億円（同２０５億円増）

・現金及び預金が３１９億円、受取手形及び売掛金が２９１億円増加しました。

・有価証券が４７４億円減少しました。

＜固定資産＞当第３四半期末：６,１６４億円（同３１億円減）

・有形固定資産は２,０７９億円（同８７億円増）となりました。

・無形固定資産は３,０２７億円（同１１５億円減）となりました。

特許権が６７億円、のれんが４４億円減少しました。

【負債】

負債の合計は、３,６６８億円（同１５６億円減）となりました。

＜流動負債＞当第３四半期末：２,９５６億円（同１８４億円減）

＜固定負債＞当第３四半期末：７１１億円（同２８億円増）

【純資産】

純資産は、１兆５１２億円（同３３１億円増）となり、自己資本比率は７４.０％となりました。

・四半期純利益８４６億円を計上した一方で、剰余金の配当６００億円、自己株式取得１９５億円を実施しました。

なお、為替換算調整勘定が純資産の増加方向に２９３億円変動しました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

通期連結業績予想は下表の通りです。２０１２年１１月に公表した業績予想からの変更はありません。

［通期連結業績予想］　（単位：百万円、端数切捨て）

	前期 ２０１２年3月期 通期実績	**当期 ２０１３年３月期 通期予想**	増減額 （増減率）
売　上　高	９６９,３８７	**９７２,０００**	２,６１２ （０.３%）
営 業 利 益	１３１,５１９	**１４７,０００**	１５,４８０ （１１.８%）
経 常 利 益	１３５,１０７	**１４９,０００**	１３,８９２ （１０.３%）
当期純利益	７８,２３０	**９８,０００**	１９,７６９ （２５.３%）

（注）通期業績予想の前提とした想定為替レートは下記の通りです。

２０１３年３月期通期の想定為替レート：８０円／米ドル、１００円／ユーロ

２０１２年３月期通期の為替レート（実績）：７９円／米ドル、１０９円／ユーロ

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第３四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の法人税等の負担率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該負担率を乗じて計算しています。

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（有形固定資産の減価償却方法の変更）

従来、当社及び国内連結子会社の有形固定資産の減価償却方法は定率法によっていましたが、第１四半期連結会計期間より海外連結子会社において採用している定額法に変更しました。

当社グループでは、主力製品の特許切れに伴う業績への影響や、事業環境の変化に対応するため、既に公表している中期経営計画において、泌尿器領域及び移植領域に加えてがん領域をグローバルで競争優位を確立すべき重要な領域と定めるとともに、研究開発面では、同じ診断名の疾患に対して同一の治療薬（Mass Medicine）を広く提供できるように開発するアプローチから、厳密に定義された特定の患者セグメントに高い効果を示す治療薬（Precision Medicine）の創製を目指す創薬アプローチに軸足を移し、積極的に推進しています。

このような取り組みに加え、前連結会計年度において、抗がん剤に特化した医薬品企業であるOSI社買収後の統合プロセスが完了したほか、他社から導入した抗がん剤の開発状況の進展など、がん領域をフランチャイズ領域とする事業基盤が整備されてきていることを踏まえ、平成24年度からの５ヵ年中期経営計画における個々の施策の見直しの中で、減価償却方法についての再検討を行いました。その結果、以下の理由を総合的に勘案し、減価償却方法についてグループ内の会計処理を統一し耐用年数にわたり均等償却により費用配分を行うことが、期間損益計算のより一層の適正化とともに、グループ全体の業績管理の精度向上に寄与するものと判断しました。

① 今後の設備投資計画では、抗体医薬をはじめとする多品種少量生産を行う体制作りへの設備投資を行う予定であり、当該投資が生産設備のより安定的な稼働に寄与すると想定されること。また現有の大型製品が今後成熟期に入ることにより、既存の生産設備の稼働についてもより平準化、安定化する見込みであること。

② 研究開発面では、従来より自社の研究開発力に重点を置いた製品開発体制としていましたが、自社による創薬研究に加え、他社とのアライアンスを、今後より一層積極的に推進し、研究開発の相乗効果を高めることにより、研究開発の不確実性リスクの低減を図っていること。

③ 当社グループは、日本、米州、欧州、アジアの４極でのバランスのとれたグローバル展開を地域戦略としており、地域横断的な研究開発体制および生産体制に基づくより効率的な資源配分を行うためには、原価計算を含めグループ内で統一されたグローバル管理が必要であること。

この結果、従来の方法によった場合に比べ、当第３四半期連結累計期間の売上総利益は1,421百万円増加し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ5,687百万円増加しています。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	210,986	242,967
受取手形及び売掛金	264,687	293,832
有価証券	88,112	40,622
たな卸資産	111,822	120,185
その他	108,356	106,001
貸倒引当金	△2,887	△1,961
流動資産合計	781,078	801,648
固定資産		
有形固定資産	199,159	207,910
無形固定資産		
のれん	94,192	89,706
特許権	161,499	154,715
その他	58,586	58,295
無形固定資産合計	314,278	302,717
投資その他の資産		
投資有価証券	60,525	57,582
その他	45,626	48,241
貸倒引当金	△39	△20
投資その他の資産合計	106,112	105,802
固定資産合計	619,550	616,430
資産合計	1,400,629	1,418,079
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	108,408	115,668
未払法人税等	24,757	15,383
引当金	4,027	4,559
その他	176,976	160,079
流動負債合計	314,170	295,690
固定負債		
退職給付引当金	16,979	17,260
その他	51,356	53,901
固定負債合計	68,336	71,162
負債合計	382,506	366,853
純資産の部		
株主資本		
資本金	103,000	103,000
資本剰余金	176,821	176,821
利益剰余金	894,737	919,311
自己株式	△23,131	△42,561
株主資本合計	1,151,427	1,156,572
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,257	10,588
為替換算調整勘定	△147,166	△117,789
その他の包括利益累計額合計	△134,909	△107,200
新株予約権	1,604	1,854
純資産合計	1,018,123	1,051,225
負債純資産合計	1,400,629	1,418,079

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）
売上高	763,869	755,193
売上原価	241,567	245,668
売上総利益	522,301	509,525
販売費及び一般管理費	375,797	374,479
営業利益	146,504	135,046
営業外収益		
受取利息	937	509
受取配当金	1,071	1,071
持分法による投資利益	232	15
為替差益	1,093	－
その他	441	602
営業外収益合計	3,776	2,198
営業外費用		
支払利息	35	188
為替差損	－	327
その他	282	326
営業外費用合計	317	842
経常利益	149,963	136,401
特別利益		
固定資産売却益	10,122	232
投資有価証券売却益	2,439	345
その他	577	211
特別利益合計	13,139	789
特別損失		
固定資産除売却損	2,479	511
減損損失	4,237	12,090
災害による損失	2,311	－
買収に伴う事業統合費用	754	－
その他	887	2,118
特別損失合計	10,669	14,719
税金等調整前四半期純利益	152,433	122,471
法人税等	53,831	37,835
少数株主損益調整前四半期純利益	98,602	84,636
四半期純利益	98,602	84,636

（四半期連結包括利益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	98,602	84,636
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△820	△1,669
為替換算調整勘定	△67,752	29,377
その他の包括利益合計	△68,572	27,708
四半期包括利益	30,030	112,345
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	30,030	112,345
少数株主に係る四半期包括利益	―	―

（３）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

2013年3月期第3四半期決算　補足情報

【業績情報】

１．連結損益の詳細
２．地域別売上高・営業利益
３．為替レートの状況
４．研究開発費の状況
５．減価償却費の状況
６．主要製品の売上高
７．連結貸借対照表

【開発品情報】

新薬開発状況

1. 連結損益の詳細

（億円）

	12/3期 3Q	13/3期 3Q	増減	増減率	12/3期 通期	13/3期 通期予想	増減率 (対12/3期)
売上高	7,638	7,551	−86	−1.1%	9,693	9,720	0.3%
売上原価	2,415	2,456	41	1.7%	3,186		
（売上高比率）	31.6%	32.5%			32.9%		
売上総利益	5,223	5,095	−127	−2.4%	6,507		
販売費・一般管理費	3,757	3,744	−13	−0.4%	5,192		
（売上高比率）	49.2%	49.6%			53.6%		
研究開発費	1,355	1,341	−13	−1.0%	1,898	1,840	−3.1%
研究開発費を除く販売費・一般管理費	2,402	2,403	0	0.0%	3,293		
内、広告費・販売促進費	630	564	−65	−10.4%	863		
内、人件費	952	1,001	49	5.2%	1,304		
内、その他費用	820	836	16	2.0%	1,125		
営業利益	1,465	1,350	−114	−7.8%	1,315	1,470	11.8%
（売上高比率）	19.2%	17.9%			13.6%	15.1%	
営業外収益	37	21	−15	−41.8%	41		
内、為替差益	10	−	−10	−	10		
営業外費用	3	8	5	165.7%	5		
内、為替差損	−	3	3	−	−		
経常利益	1,499	1,364	−135	−9.0%	1,351	1,490	10.3%
（売上高比率）	19.6%	18.1%			13.9%	15.3%	
特別利益	131	7	−123	−94.0%	140		
内、固定資産売却益	101	2	−98	−97.7%	104		
内、投資有価証券売却益	24	3	−20	−85.9%	27		
特別損失	106	147	40	38.0%	221		
内、固定資産除売却損	24	5	−19	−79.4%	59		
内、減損損失	42	120	78	185.3%	92		
内、災害による損失	23	−	−23	−	31		
内、買収に伴う事業統合費用	7	−	−7	−	6		
税金等調整前当期純利益 （税金等調整前四半期純利益）	1,524	1,224	−299	−19.7%	1,270		
法人税等	538	378	−159	−29.7%	488		
当期純利益 （四半期純利益）	986	846	−139	−14.2%	782	980	25.3%
（売上高比率）	12.9%	11.2%			8.1%	10.1%	
包括利益	300	1,123	823	274.1%	544		

2. 地域別売上高・営業利益

（億円）

		12/3期 3Q	13/3期 3Q	増減	増減率	12/3期 通期	13/3期 通期予想	増減率 (対12/3期)
外部売上高		7,638	7,551	−86	−1.1%	9,693	9,720	0.3%
	日本	4,449	4,324	−124	−2.8%	5,584	5,609	0.5%
	(構成比)	58.2%	57.3%			57.6%	57.7%	
	米州	1,406	1,472	66	4.7%	1,835	1,858	1.3%
	(構成比)	18.4%	19.5%			18.9%	19.1%	
	欧州	1,513	1,447	−66	−4.4%	1,917	1,858	−3.1%
	(構成比)	19.8%	19.2%			19.8%	19.1%	
	アジア	269	307	38	14.1%	357	393	10.0%
	(構成比)	3.5%	4.1%			3.7%	4.0%	
営業利益		1,465	1,350	−114	−7.8%	1,315	1,470	11.8%
	日本	833	734	−99	−11.9%			
	(構成比)	56.9%	54.4%					
	米州	75	196	120	160.5%			
	(構成比)	5.1%	14.5%					
	欧州	457	428	−28	−6.2%			
	(構成比)	31.2%	31.8%					
	アジア	22	33	11	52.0%			
	(構成比)	1.5%	2.5%					
	消去または全社	76	−42	−119				

注:売上元会社の所在地を元に集計しています。

3. 為替レートの状況

	12/3期 3Q	13/3期 3Q	12/3 期末	12/12 期末	12/3期 通期	13/3期 通期予想
円／USD	79	80	82	87	79	80
円／EUR	111	102	110	115	109	100

＊為替レートの変動の影響により、当第3四半期において売上高で98億円の減収、営業利益においては113億円の減益の影響がありました。

4. 研究開発費の状況

（億円）

	12/3期 3Q	13/3期 3Q	増減	増減率	12/3期 通期	13/3期 通期予想	増減率 (対12/3期)
研究開発費	1,355	1,341	−13	−1.0%	1,898	1,840	−3.1%
（対売上高比率）	17.7%	17.8%			19.6%	18.9%	

5. 減価償却費の状況

（億円）

		12/3期 3Q	13/3期 3Q	増減	増減率	12/3期 通期	13/3期 通期予想	増減率 (対12/3期)
減価償却費(有形)								
	連結	209	127	−82	−39.3%	286	170	−40.8%
減価償却費(無形)								
	連結	183	215	31	17.2%	249	225	−9.8%
※のれん償却額(上記 減価償却費(無形)には含まず)		87	87			117	98	
Agensys		51	51			68	51	
OSI		36	35			48	46	

6. 主要製品の売上高

1) グローバル製品

（億円）

		12/3期 3Q	13/3期 3Q	増減	増減率	12/3期 通期	13/3期 通期予想	増減率 (対12/3期)
プログラフ		1,212	1,193	−18	−1.5%	1,548	1,507	−2.7%
自社販売計		1,163	1,161	−1	−0.1%	1,488	1,471	−1.1%
	国内（グラセプター含む）	342	376	34	9.9%	440	498	13.0%
	米州	232	223	−9	−4.1%	292	265	−9.4%
	欧州	472	427	−45	−9.7%	602	534	−11.3%
	内、アドバグラフ	119	128	8	7.1%	157		
	アジア	114	134	19	17.1%	152	174	14.2%
輸出外部売上		49	31	−17	−35.1%	60	35	−40.5%
ハルナール		482	408	−74	−15.4%	608	521	−14.4%
自社販売計		445	378	−67	−15.1%	561	487	−13.2%
	国内	216	178	−37	−17.4%	274	232	−15.4%
	欧州	149	115	−33	−22.5%	180	147	−18.4%
	内、カプセル	60	51	−9	−15.4%	72	66	−8.6%
	内、Omnic OCAS	88	64	−24	−27.3%	108	81	−25.0%
	アジア	74	78	4	5.8%	98	99	1.7%
バルク・ロイヤリティ等		36	29	−7	−19.7%	47	34	−28.6%
ベシケア		731	797	66	9.1%	972	1,068	10.0%
	国内	215	226	10	5.0%	280	309	10.1%
	米州	288	335	46	16.1%	389	436	11.9%
	欧州	207	214	6	3.2%	275	291	5.9%
	アジア	18	20	1	9.9%	24	30	23.4%
ベタニス/ミラベトリック		5	37	31	623.9%	9		
	国内	5	32	26	525.6%	9	36	284.2%
	米州	−	5	5	−	−		
ファンガード/マイカミン		200	231	31	15.5%	262	292	11.2%
	国内	99	101	1	2.0%	125	121	−3.8%
	米州	61	70	8	14.6%	82	91	11.1%
	欧州	26	42	15	58.4%	37	58	54.5%
	アジア	12	16	4	36.9%	16	21	26.5%
プロトピック		127	132	4	3.7%	169	173	2.0%
	国内	23	26	2	11.7%	31	37	20.1%
	米州	55	59	4	8.1%	74	75	0.7%
	欧州	39	32	−6	−16.7%	51	44	−13.7%
	アジア	9	12	3	37.4%	12	15	24.3%
XTANDI	米州	−	57	57	−	−	79	−

注：個別製品の売上高のうち、国内売上の開示は仕切価ベースです。

2）日本の主要製品

（億円）

＜グローバル品（再掲）＞	12/3期 3Q	13/3期 3Q	増減	増減率	12/3期 通期	13/3期 通期予想	増減率 （対12/3期）
プログラフ（グラセプター含む）	342	376	34	9.9%	440	498	13.0%
ハルナール	216	178	−37	−17.4%	274	232	−15.4%
ベシケア	215	226	10	5.0%	280	309	10.1%
ベタニス	5	32	26	525.6%	9	36	284.2%
ファンガード	99	101	1	2.0%	125	121	−3.8%
プロトピック	23	26	2	11.7%	31	37	20.1%
＜国内製品＞							
リピトール [ファミリー]	781	551	−230	−29.5%	963	718	−25.5%
内、カデュエット	29	72	43	149.4%	49		
ミカルディス [ファミリー]	663	701	37	5.6%	853	906	6.1%
内、ミコンビ	79	89	10	12.9%	104		
内、ミカムロ	76	119	42	56.0%	106		
ガスター	297	236	−61	−20.7%	375	306	−18.6%
マイスリー	268	253	−15	−5.6%	352	325	−7.8%
セロクエル	216	230	14	6.5%	278	277	−0.5%
ワクチン	247	246	−1	−0.6%	265	285	7.3%
セフゾン	65	56	−9	−13.9%	82	71	−13.7%
フランドル	74	67	−7	−9.6%	94	87	−7.1%
セレコックス	251	285	34	13.6%	330	386	16.9%
ジェニナック	90	94	3	4.4%	119	121	1.5%
ボノテオ	35	78	43	122.1%	50	120	136.4%
シムビコート	150	204	54	35.9%	200	287	43.0%
アーガメイト	−	46	46	−	1	73	−
キックリン	−	3	3	−	−		
ゴナックス	−	3	3	−	−		
国内医薬品　計	4,296	4,165	−130	−3.0%	5,399	5,418	0.4%

注：売上高の開示は仕切価ベースです。

（億円）

3）海外の主要製品		12/3期 3Q	13/3期 3Q	増減	増減率	12/3期 通期	13/3期 通期予想	増減率 （対12/3期）
スキャン※	米州	364	383	18	5.1%	490	453	−7.5%
内、レキスキャン		314	345	30	9.8%	424		
アンビソーム	米州	41	48	6	16.4%	55	56	2.2%
タルセバ		253	263	10	4.0%	337		
	米国	147	168	21	14.6%	198		
	米国以外	106	94	−11	−10.7%	139		
エリガード	欧州	107	109	2	1.9%	138	143	3.3%
キューテンザ	欧州	3	6	2	54.2%	5		

※アデノスキャンとレキスキャンの合算

（億円）

4）輸出外部売上	12/3期 3Q	13/3期 3Q	増減	増減率	12/3期 通期	13/3期 通期予想	増減率 （対12/3期）
セフスパン	44	22	−22	−49.9%	50	32	−36.1%

5）欧米地域の売上高の状況（現地通貨）

単位：M＄

米州	12/3期 3Q	13/3期 3Q	増減	増減率	12/3期 通期	13/3期 通期予想	増減率 （対12/3期）
売上高	1,780	1,840	60	3.4%	2,320	2,331	0.5%
プログラフ	294	279	−15	−5.2%	370	332	−10.2%
スキャン※	461	479	17	3.8%	619	568	−8.3%
内、レキスキャン	398	431	33	8.4%	536		
アンビソーム	52	60	7	14.9%	69	70	1.4%
プロトピック	69	74	4	6.8%	94	94	−0.1%
ベシケア	365	418	53	14.6%	492	547	11.0%
ミラベトリック	−	6	6	−	−		
マイカミン	78	88	10	13.1%	104	115	10.2%
タルセバ	320	329	8	2.7%	426		
米国	186	211	24	13.2%	250		
米国以外	134	118	−15	−11.8%	175		
XTANDI	−	71	71	−	−	100	−

※アデノスキャンとレキスキャンの合算

単位：M€

欧州	12/3期 3Q	13/3期 3Q	増減	増減率	12/3期 通期	13/3期 通期予想	増減率 （対12/3期）
売上高	1,368	1,416	48	3.6%	1,759	1,852	5.3%
ハルナール	168	142	−25	−15.5%	209	181	−13.7%
自販　計	134	113	−21	−16.1%	165	147	−11.4%
内、カプセル	54	50	−4	−8.4%	66	66	−0.7%
内、OCAS	80	63	−17	−21.3%	99	81	−18.5%
バルクロイヤリティ	33	28	−4	−13.0%	43	34	−22.4%
プログラフ	470	448	−22	−4.7%	606	566	−6.6%
自販　計	427	418	−9	−2.2%	552	532	−3.7%
内、アドバグラフ	108	125	17	15.9%	144		
輸出外部売上	43	30	−12	−29.5%	54	34	−36.2%
ベシケア	187	209	22	11.8%	252	291	15.1%
プロトピック	35	32	−3	−9.7%	46	44	−6.3%
マイカミン	24	41	17	71.5%	34	58	67.8%
エリガード	96	106	10	10.4%	127	143	12.2%
キューテンザ	3	6	2	67.0%	5		

7. 連結貸借対照表

（億円：億円未満切捨て表示）

科目	2012年3月末 金額	2012年12月末 金額	増減	コメント
資産合計	**14,006**	**14,180**	**174**	
流動資産	**7,810**	**8,016**	**205**	
現金及び預金	2,109	2,429	319	
受取手形及び売掛金	2,646	2,938	291	
有価証券	881	406	−474	
たな卸資産	1,118	1,201	83	
その他	1,083	1,060	−23	
貸倒引当金	−28	−19	9	
固定資産	**6,195**	**6,164**	**−31**	
有形固定資産	**1,991**	**2,079**	**87**	
無形固定資産	**3,142**	**3,027**	**−115**	
のれん	941	897	−44	
特許権	1,614	1,547	−67	・特許権
その他	585	582	−2	OSI社償却（−94）
投資その他の資産	**1,061**	**1,058**	**−3**	仕掛研究開発に関わる減損
投資有価証券	605	575	−29	
その他	456	482	26	
貸倒引当金	−0	−0	0	

（億円：億円未満切捨て表示）

科目	2012年3月末 金額	2012年12月末 金額	増減	コメント
負債・純資産合計	**14,006**	**14,180**	**174**	
負債合計	**3,825**	**3,668**	**−156**	
流動負債	**3,141**	**2,956**	**−184**	
支払手形及び買掛金	1,084	1,156	72	
未払法人税等	247	153	−93	
引当金	40	45	5	
その他	1,769	1,600	−168	
固定負債	**683**	**711**	**28**	
退職給付引当金	169	172	2	
その他	513	539	25	
純資産合計	**10,181**	**10,512**	**331**	
資本金	1,030	1,030	−	
資本剰余金	1,768	1,768	−	
利益剰余金	8,947	9,193	245	
自己株式	−231	−425	−194	
その他有価証券評価差額金	122	105	−16	
為替換算調整勘定	−1,471	−1,177	293	
新株予約権	16	18	2	

1. グローバル開発品

(1) 承認

開発ｺｰﾄﾞ 一般名	製品名 （承認時期）	薬効/ 作用機序	対象疾患	地域	剤形	自社/ 導入	備考
YM178 ﾐﾗﾍﾞｸﾞﾛﾝ	ﾍﾞｯﾄﾐｶﾞ （2012年12月）	β_3受容体 作動薬	過活動膀胱における 尿意切迫感、 頻尿及び切迫性尿失禁	欧州	経口	自社	

(2) 申請中（最も開発の進んでいる地域のフェーズ）

開発ｺｰﾄﾞ 一般名	薬効/作用機序	対象疾患	開発段階 地域	剤形	自社/ 導入	備考
MDV3100 ｴﾝｻﾞﾙﾀﾐﾄﾞ*	ｱﾝﾄﾞﾛｹﾞﾝ受容体 阻害剤	ﾄﾞｾﾀｷｾﾙによる 化学療法施行歴を有する 転移性去勢抵抗性 前立腺がん	欧州 申請 （2012年6月） 日本 P-Ⅱ	経口	Medivation	
		前立腺がん （化学療法未治療ほか）	米国 P-Ⅲ 欧州 P-Ⅲ 日本 P-Ⅲ ｱｼﾞｱ P-Ⅲ			効能追加
		乳がん	米国 P-Ⅰ			効能追加
FK506 ﾀｸﾛﾘﾑｽ	免疫抑制剤	成人腎臓移植患者および 成人男性肝臓移植患者に おける拒絶反応の抑制 （徐放性製剤）	米国 申請 （2012年9月）	経口	自社	剤形追加
FK463 ﾐｶﾌｧﾝｷﾞﾝ	ｷｬﾝﾃﾞｨﾝ系 抗真菌剤	ｶﾝｼﾞﾀﾞ性敗血症、 急性播種性ｶﾝｼﾞﾀﾞ症、 ｶﾝｼﾞﾀﾞ性腹膜炎・膿瘍、 食道ｶﾝｼﾞﾀﾞ症、造血 幹細胞移植患者における ｶﾝｼﾞﾀﾞ感染症の予防 （生後4カ月から 16歳までの小児）	米国 申請 （2012年9月）	注射	自社	効能追加
ASP4130 ﾁﾎﾞｻﾞﾆﾌﾞ	血管内皮 細胞増殖因子 (VEGF) 受容体1,2,3阻害剤	進行性腎細胞がん	米国 申請 （2012年9月） 欧州 P-Ⅲ	経口	AVEO	
		大腸がん、乳がん	米国/欧州 P-Ⅱ			効能追加
ｴﾙﾛﾁﾆﾌﾞ (ﾀﾙｾﾊﾞ)	HER1/EGFR ﾁﾛｼﾝｷﾅｰｾﾞ 阻害剤	EGFR遺伝子変異を 有する局所進行性 又は転移性の 非小細胞肺がんに対する 一次治療	米国 申請 （2012年11月）	経口	自社 （OSI）	効能追加
		非小細胞肺がん （ｱｼﾞｭﾊﾞﾝﾄ療法、 MetMabとの 併用療法）、 大腸がん、小児上衣腫	米国 P-Ⅲ			効能追加

*p-INN (proposed international nonproprietary name, INN: 国際一般名）

(2) P−Ⅲ～P−Ⅱ（最も開発の進んでいる地域のフェーズ）

開発ｺｰﾄﾞ 一般名	薬効/作用機序	対象疾患	開発段階 地域	剤形	自社/ 導入	備考
ｲｻﾌﾞｺﾅｿﾞｰﾙ	ｱｿﾞｰﾙ系 抗真菌剤	侵襲性ｱｽﾍﾟﾙｷﾞﾙｽ	米国/欧州 P-Ⅲ	注射 経口	Basilea	
		ｶﾝｼﾞﾀﾞ血症/侵襲性ｶﾝｼﾞﾀﾞ症	米国/欧州 P-Ⅲ			
ASP0113 (VCL-CB01)	ｻｲﾄﾒｶﾞﾛｳｲﾙｽ DNAﾜｸﾁﾝ	造血幹細胞移植時の ｻｲﾄﾒｶﾞﾛｳｲﾙｽ血症予防	米国/欧州 P-Ⅲ	注射	Vical	
		臓器移植時の ｻｲﾄﾒｶﾞﾛｳｲﾙｽ血症予防	米国/欧州 P-Ⅱ			
YM905 ｿﾘﾌｪﾅｼﾝ	ﾑｽｶﾘﾝM_3 受容体拮抗剤	小児の 神経因性膀胱と過活動膀胱	米国/欧州 P-Ⅲ	経口	自社	効能追加
ASP1517 (FG-4592)	HIF安定化剤	慢性腎疾患（保存期および 透析期）に伴う貧血	欧州 P-Ⅲ 日本 P-Ⅱ	経口	FibroGen	
YM311 (FG-2216)	HIF安定化剤	腎性貧血	欧州 P-Ⅱ 日本 P-Ⅰ	経口	FibroGen	
ASP7487 (OSI-906) ﾘﾝｼﾁﾆﾌﾞ	IGF-1R/IR ﾁﾛｼﾝｷﾅｰｾﾞ 阻害剤	卵巣がん、非小細胞肺がん	米国 P-Ⅱ	経口	自社 （OSI）	
YM155 ｾﾊﾟﾝﾄﾛﾆｳﾑ 臭化物	ｻﾊﾞｲﾋﾞﾝ 発現抑制剤	非ﾎｼﾞｷﾝﾘﾝﾊﾟ腫	米国 P-Ⅱ 欧州 P-Ⅱ 日本 P-Ⅰ	注射	自社	
AC220 ｷｻﾞﾙﾁﾆﾌﾞ	FLT3ﾁﾛｼﾝ ｷﾅｰｾﾞ阻害剤	急性骨髄性白血病	米国/欧州 P-Ⅱ 日本 P-Ⅰ	経口	Ambit	
ASP015K	JAK阻害剤	関節ﾘｳﾏﾁ	日本 P-Ⅱ （米国/欧州 P-Ⅱ*）	経口	自社	
ASKP1240	抗CD40抗体	臓器移植における 拒絶反応の抑制	米国 P-Ⅱ 日本 P-Ⅰ	注射	協和発酵 ｷﾘﾝ	
OSI-027	mTORｷﾅｰｾﾞ 阻害剤	腎細胞がん	米国 P-Ⅱ	経口	自社 (OSI)	
EB178 ｿﾘﾌｪﾅｼﾝ/ ﾐﾗﾍﾞｸﾞﾛﾝ	ｿﾘﾌｪﾅｼﾝと ﾐﾗﾍﾞｸﾞﾛﾝの 併用療法	過活動膀胱における 尿意切迫感、頻尿 及び切迫性尿失禁	欧州 P-Ⅱ	経口	自社	
ASP3652	求心性神経活動 抑制	慢性前立腺炎/ 慢性骨盤痛症候群	欧州 P-Ⅱ 日本 P-Ⅰ	経口	自社	
		膀胱痛症候群/ 間質性膀胱炎	欧州 P-Ⅱ			
ASP1707	GnRH受容体 ｱﾝﾀｺﾞﾆｽﾄ	子宮内膜症	欧州/日本 P-Ⅱ	経口	自社	
		前立腺がん	欧州 P-Ⅰ			

*日本を除く全世界の開発・商業化の権利をヤンセン・バイオテック社に導出したが、P-Ⅱb試験をアステラスが継続して実施。

2. ローカル開発品：日本

(1) 承認

開発ｺｰﾄﾞ 一般名	製品名 （承認時期）	薬効/ 作用機序	対象疾患	地域	剤形	自社/ 導入	備考
ｾﾙﾄﾘｽﾞﾏﾌﾞ ﾍﾟｺﾞﾙ	ｼﾑｼﾞｱ （2012年12月）	PEG化 抗TNF–α抗体	既存治療で効果不十分な 関節ﾘｳﾏﾁ （関節の構造的損傷の 防止を含む）	日本	注射	UCB	

(2) 申請中（最も開発の進んでいるフェーズ）

開発ｺｰﾄﾞ 一般名	薬効/作用機序	対象疾患	開発段階 地域	剤形	自社/ 導入	備考
YM443 ｱｺﾁｱﾐﾄﾞ	ｱｾﾁﾙｺﾘﾝ 分解酵素阻害剤	機能性ﾃﾞｨｽﾍﾟﾌﾟｼｱ	日本 申請 （2010年9月）	経口	ｾﾞﾘｱ新薬	
YM060 ﾗﾓｾﾄﾛﾝ	5-HT_3受容体 拮抗剤	男性における 下痢型過敏性腸症候群 （口腔内崩壊錠）	日本 申請 （2012年8月）	経口	自社	剤形追加
		過敏性腸症候群 女性患者	日本 P-Ⅲ			効能追加
ｱﾓｷｼｼﾘﾝ	ﾍﾟﾆｼﾘﾝ系 抗生物質	ﾌﾟﾛﾄﾝﾎﾟﾝﾌﾟ阻害薬、 ｸﾗﾘｽﾛﾏｲｼﾝ又は ﾒﾄﾛﾆﾀﾞｿﾞｰﾙとの 3剤併用による ﾍﾘｺﾊﾞｸﾀｰ・ﾋﾟﾛﾘ感染胃炎に おけるﾍﾘｺﾊﾞｸﾀｰ･ﾋﾟﾛﾘの 除菌療法	日本 申請 （2012年8月）	経口	自社	効能追加

(3) P−Ⅲ～P−Ⅱ

開発ｺｰﾄﾞ 一般名	薬効/作用機序	対象疾患	開発段階 地域	剤形	自社/ 導入	備考
ASP1941 ｲﾌﾟﾗｸﾞﾘﾌﾛｼﾞﾝ	SGLT2阻害剤	2型糖尿病	日本 P-Ⅲ	経口	自社 (寿製薬と 共同開発)	
YM533 ﾍﾞﾗﾌﾟﾛｽﾄ ﾅﾄﾘｳﾑ	ﾌﾟﾛｽﾀｻｲｸﾘﾝ 受容体刺激剤	慢性腎不全 （原発性・腎硬化）	日本/ｱｼﾞｱ P-Ⅲ	経口	東レ	効能追加 剤形追加
FK949E ｸｴﾁｱﾋﾟﾝ	ｾﾛﾄﾆﾝ・ﾄﾞﾊﾟﾐﾝ 拮抗剤	双極性障害における うつ状態	日本 P-Ⅲ	経口	AstraZeneca	効能追加 剤形追加
		大うつ病性障害	日本 P-Ⅱ			
ｾﾙﾄﾘｽﾞﾏﾌﾞ ﾍﾟｺﾞﾙ	PEG化 抗TNF-α抗体	ﾒﾄﾄﾚｷｻｰﾄ未治療の関節ﾘｳﾏﾁ	日本 P-Ⅲ	注射	UCB	効能追加
ASP1585 (AMG223) ﾋﾞｷｻﾛﾏｰ	ｱﾐﾝ機能性 ﾎﾟﾘﾏｰ	保存期慢性腎不全患者に おける高ﾘﾝ血症	日本 P-Ⅲ	経口	Ilypsa/ Amgen	効能追加
ﾅﾃｸﾞﾘﾆﾄﾞ	速効・短時間型 ｲﾝｽﾘﾝ分泌促進剤	2型糖尿病 DPP-4阻害剤との併用療法	日本 P-Ⅲ	経口	味の素製薬	効能追加
ASP7374	ｲﾝﾌﾙｴﾝｻﾞﾜｸﾁﾝ	季節性ｲﾝﾌﾙｴﾝｻﾞの予防	日本 P-Ⅲ	注射	UMNﾌｧｰﾏ	
ASP7373	ｲﾝﾌﾙｴﾝｻﾞﾜｸﾁﾝ	ｲﾝﾌﾙｴﾝｻﾞ(H5N1)の予防	日本 P-Ⅱ	注射	UMNﾌｧｰﾏ	
ASP3550 ﾃﾞｶﾞﾚﾘｸｽ	GnRH受容体 ｱﾝﾀｺﾞﾆｽﾄ	前立腺がん （3ヶ月製剤）	日本 P-Ⅱ	注射	Ferring	剤形追加
ASP0456 ﾘﾅｸﾛﾁﾄﾞ	C型ｸﾞｱﾆﾙ酸 ｼｸﾗｰｾﾞ受容体 作動薬	過敏性腸症候群	日本 P-Ⅱ	経口	Ironwood	

3. ローカル開発品：欧州

(1) 申請中

開発ｺｰﾄﾞ 一般名	薬効/作用機序	対象疾患	開発段階 地域	剤形	自社/ 導入	備考
EC905 ｿﾘﾌｪﾅｼﾝ/ ﾀﾑｽﾛｼﾝ	ｿﾘﾌｪﾅｼﾝと ﾀﾑｽﾛｼﾝの 合剤	蓄尿症状を有する 前立腺肥大症に伴う 下部尿路症状	欧州 申請 （2012年3月）	経口	自社	

(2) P−Ⅲ～P−Ⅱ

開発ｺｰﾄﾞ 一般名	薬効/作用機序	対象疾患	開発段階 地域	剤形	自社/ 導入	備考
NGX-4010 ｶﾌﾟｻｲｼﾝ	TRPV1作動薬	糖尿病性神経因性疼痛	欧州 P-Ⅲ	貼付	NeurogesX	効能追加

4. P－Ⅰ

開発ｺｰﾄﾞ 一般名	対象疾患	剤形	自社/導入
AGS-16M8F・ AGS-16C3F	がん （ADC技術活用）	注射	自社 (Agensys)
ASG-5ME	がん （ADC技術活用）	注射	自社 (Agensys) [Seattle Geneticsと 共同開発]
ASP7035	夜間頻尿	経口	自社
ASP0777	ｱﾙﾂﾊｲﾏｰ病［認知症］	経口	自社
ASP0306	前立腺肥大症に伴う排尿障害	経口	自社
ASP4901 (AKP-002)	前立腺肥大症に伴う排尿障害	経口	あすか製薬
ASP8477	神経因性疼痛	経口	自社
ASP2408	関節ﾘｳﾏﾁ	注射	自社 (Perseid)
ASP3026	がん	経口	自社
ASG-22ME	がん （ADC技術活用）	注射	自社 (Agensys) [Seattle Geneticsと 共同開発]
ASP9226	神経因性疼痛	経口	自社
ASP9603	前立腺がん	経口	自社
ASP7991	二次性副甲状腺機能亢進症	経口	自社
ASP2409	臓器移植における 拒絶反応の抑制	注射	自社 (Perseid)
ASP6432	前立腺肥大症に伴う排尿障害	経口	自社
ASP9853	がん	経口	自社
ASP8232	糖尿病性腎症	経口	自社
ﾌｨﾀﾞｷｿﾏｲｼﾝ*	ｸﾛｽﾄﾘｼﾞｳﾑ・ﾃﾞｨﾌｨｼﾙ 関連下痢症	経口	Optimer

*日本の開発

5. 開発中止品目

開発ｺｰﾄﾞ 一般名	開発段階 地域	対象疾患	理由
PSN821	欧州 P-Ⅱ	2型糖尿病、肥満	本剤に関連する資産を取得する独占的なオプション権をアストラゼネカ社に付与していたが、オプション権を同社が行使しない旨の通知を受領した。 重点領域や他の開発品との優先度等を総合的に勘案し、戦略的な観点から開発中止を決定した。
ASP8597 ﾀﾞｲｱﾈｷｼﾝ	米国 P-Ⅱ	腎移植後の 臓器機能障害予防	P-Ⅱ/Ⅲ試験中に得られた非臨床試験の所見に基づき、開発中止を決定した。

【2012年11月1日　決算発表時からの変更箇所】

発売

・エンザルタミド [ドセタキセルによる化学療法施行歴を有する転移性去勢抵抗性前立腺がん] について、2012年9月に米国で発売となったため、リストから以下の記載を削除した。

開発ｺｰﾄﾞ 一般名	製品名 （承認時期）	薬効/作用機序	対象疾患	地域	剤形	自社/導入	備考
MDV3100 ｴﾝｻﾞﾙﾀﾐﾄﾞ*	XTANDI （2012年8月）	ｱﾝﾄﾞﾛｹﾞﾝ受容体 阻害剤	ﾄﾞｾﾀｷｾﾙによる 化学療法施行歴を有する 転移性去勢抵抗性 前立腺がん	米国	経口	Medivation	

*p-INN (proposed international nonproprietary name, INN: 国際一般名）

承認

・ミラベグロン [過活動膀胱における尿意切迫感、頻尿及び切迫性尿失禁] について、製造販売承認を2012年12月に欧州で取得したことから、承認の欄に移動した。

・セルトリズマブ ペゴル [既存治療で効果不十分な関節リウマチ] について、製造販売承認を2012年12月に日本で取得したことから、承認の欄に移動した。

開発ｺｰﾄﾞ 一般名	製品名 （承認時期）	薬効/作用機序	対象疾患	地域	剤形	自社/ 導入	備考
YM178 ﾐﾗﾍﾞｸﾞﾛﾝ	ﾍﾞｯﾄﾐｶﾞ （2012年12月）	β_3受容体 作動薬	過活動膀胱における 尿意切迫感、 頻尿及び 切迫性尿失禁	欧州	経口	自社	
ｾﾙﾄﾘｽﾞﾏﾌﾞ ﾍﾟｺﾞﾙ	ｼﾑｼﾞｱ （2012年12月）	PEG化 抗TNF-α抗体	既存治療で 効果不十分な 関節ﾘｳﾏﾁ （関節の構造的損傷 の防止を含む）	日本	注射	UCB	

申請中

・エルロチニブ [EGFR遺伝子変異を有する局所進行性又は転移性の非小細胞肺がんに対する一次治療] を2012年11月に米国で申請したことから、申請中のリストに移動した。（下線部変更）

開発ｺｰﾄﾞ 一般名	薬効/作用機序	対象疾患	開発段階 地域	剤形	自社/ 導入	備考
ｴﾙﾛﾁﾆﾌﾞ (ﾀﾙｾﾊﾞ)	HER1/EGFR ﾁﾛｼﾝｷﾅｰｾﾞ 阻害剤	EGFR遺伝子変異を有する 局所進行性又は転移性の 非小細胞肺がんに対する 一次治療	米国 申請 （2012年11月）	経口	自社 （OSI）	効能追加
		非小細胞肺がん （ｱｼﾞｭﾊﾞﾝﾄ療法、 MetMabとの 併用療法）、 大腸がん、小児上衣腫	米国 P-Ⅲ			効能追加

P-Ⅲ～P-Ⅱ

・ASP1517 [慢性腎疾患（保存期および透析期）に伴う貧血] が欧州でフェーズⅢ段階に、日本でフェーズⅡ段階に入ったため、開発段階と対象疾患を変更した。（下線部変更）

・キザルチニブ [急性骨髄性白血病] が日本でフェーズⅠ段階に入ったため、開発段階を変更した。（下線部追記）

・ASP7374 [季節性インフルエンザの予防] が日本でフェーズⅢ段階に入ったため、開発段階を変更した。（下線部変更）

開発ｺｰﾄﾞ 一般名	薬効/作用機序	対象疾患	開発段階 地域	剤形	自社/ 導入	備考
ASP1517 (FG-4592)	HIF安定化剤	慢性腎疾患（保存期および透析期）に伴う貧血	欧州 P-Ⅲ 日本 P-Ⅱ	経口	FibroGen	
AC220 ｷｻﾞﾙﾁﾆﾌﾞ	FLT3ﾁﾛｼﾝ ｷﾅｰｾﾞ阻害剤	急性骨髄性白血病	米国/欧州 P-Ⅱ 日本 P-Ⅰ	経口	Ambit	
ASP7374	ｲﾝﾌﾙｴﾝｻﾞﾜｸﾁﾝ	季節性ｲﾝﾌﾙｴﾝｻﾞの予防	日本 P-Ⅲ	注射	UMNﾌｧｰﾏ	

P－Ⅰ

・ASP8232 [糖尿病性腎症] をP-Ⅰの欄に追加した。

・フィダキソマイシン [クロストリジウム・ディフィシル関連下痢症、日本の開発] をP-Ⅰの欄に追加した。

開発中止

・欧州でフェーズⅡ段階にあったPSN821 [2型糖尿病、肥満] の開発を中止したため、リストから削除した。

・米国でフェーズⅡ段階にあったダイアネキシン [腎移植後の臓器機能障害予防] の開発を中止したため、リストから削除した。